

峰上地区における新たな移動手段の運行内容（案）について

○協議趣旨

前回会議にてご報告のとおり、昨年度から峰上地区において、地域住民を主体とした移動手段確保に向けた検討を進めてきました。

昨年4月から、現状認識を共有するための勉強会を重ね、12月から本年1月にかけて地域の移動困難者調査を行い、3月には具体的な運行内容を検討するためのワークショップを実施しました。

今般、本地域の特性を踏まえ、地域にとって必要な移動手段について「峰上地区における新たな移動手段の運行内容（案）」のとおりまとめましたので、実施の可否についてご協議いただくものです。

なお、本内容（案）は素案としてご提示するものであり、実際の運行主体や運行方法等の詳細につきましては、今後地域のバス・タクシー事業者との協議や運輸支局の指導等を踏まえ調整を行い、改めてご協議いただくことを予定しております。

峰上地区における新たな移動手段の 運行内容について（案）

令和4年6月

1 峰上地区について

(1) 検討背景と導入に向けた基本方針

峰上地区は、広い区域に居住地が疎らに点在しており、地域の高齢化率は47.2%（令和3年9月末現在）と市内でも高い地域です。地区内を廃止代替路線バス「戸面原ダム線」が1日3便運行しているものの、利用可能な住民は運行経路沿いに限られ、また、湊地区周辺を営業圏域とするタクシー事業者の存在はありますが、峰上地区までは距離があるために、タクシー運賃助成制度を利用してもなお負担感が大きいことなどから、利用が少ない状況です。

峰上地区は全体として交通空白地が多く、既存公共交通事業者によるサービスだけでは点在する地域の移動ニーズをカバーしきれていないと考えられ、地域住民からも現状の不便さを軽減するための新たな移動手段の導入が求められています。

一方で、行政は限られた経営資源を活用し、将来に渡り様々な分野において、安定した市民サービスを提供していくために、持続可能な行政経営を行う必要があります。

これらを踏まえ、峰上地区において新たに導入を検討する移動手段は、既存公共交通を補完し、持続可能性が確保されるものであることが望ましく、峰上地区を運営主体とし、市が運営補助を行う体制で、自家用有償旅客運送（交通空白地）による交通システムの導入を目指します。

(2) 峰上（環、関豊）地区の概況

- 地区別世帯数、人口及び高齢化率（住基：令和3年9月末現在）

	世帯数	人口	65歳以上	高齢化率
環地区	706世帯	1,607人	754人	46.9%
関豊地区	411世帯	772人	368人	47.6%
計	1,117世帯	2,379人	1,122人	47.2%
参考：竹岡地区	804世帯	1,665人	778人	46.7%

- お出かけのときに送迎をお願いできる人の有無（H29アンケート結果）

	環	関豊	市全体
送迎できる人がいる	43.8%	45.1%	37.1%
送迎できる人がいないときがある	29.5%	27.5%	32.6%
いない	21.0%	17.6%	24.5%
無回答	5.7%	9.8%	5.8%

※送迎できる人がいる割合が比較的高い地域特性がある。

(3) 運行日

- ・地区住民の生活のための交通手段であり、通院や買い物が中心であると考えられることから、曜日を決めた運行とします。
- ・アンケート調査結果から、利用想定者の外出頻度は週1～2日であり、外出の多い曜日はバラツキがみられるものの、火・金曜日がやや多く、医療機関の診療日とも重なるため、運行日は「週2日(火・金曜日)」の運行とします。選挙やワクチン接種など、必要に応じて臨時便を運行する場合があります。
- ・なお、年末年始(12/29～1/3)及び祝日は運行しないこととします。

(4) 運行形態・運行ダイヤなど

①運行形態

- ・利用想定者からは、「家から幹線道路沿いまで距離があり歩いて行くことが困難」との意見が多く、路線バスのような運行形態(定時定路線)は難しいと思われます。
- ・以上のことから、利用される方の希望時間に合わせて自宅から目的地までドア・トゥ・ドアで運行する予約(デマンド)型の運行とします。

②運行時間帯

- ・アンケート調査結果から、利用想定者の外出時間は、出発時間が「8:00～10:00」が最も多く、帰宅時間は「10:00～12:00」、「14:00～16:00」の順で多いことから、午前中に外出され、夕方前には帰宅される方が多いことがわかります。このことから、運行時間帯は「午前 8:00～午後 4:00」に設定します。

③運行ダイヤ

- ・予約制のため、予約に応じて運行ダイヤを編成します。

3 乗降方式

- ・自宅から目的地までをドア・トゥ・ドアで運行します。

4 運賃

・旅客から収受しようとする対価は、実費の範囲内であると認められること、営利を目的としていると認められない妥当な範囲内であること等が求められています。

具体的には以下の基準が目安になります。

・当該地域におけるタクシーの上限運賃の概ね 1/2 の範囲内であること。(ただし、地域公共交通会議において調った協議結果に基づき、1/2 を超える運送の対価を設定することも可能)

・千葉県(B地区)のタクシー運賃は初乗り(1.27km)500円、以降272mごとに100円が加算されます。(距離制運賃)

●仮に峰上地区の運行で計算した場合…

峰上地区内の移動 関豊ふれあいシニア館⇒関尻郵便局への移動(4.2km)

初乗り(1.27km)500円+加算100円×(距離2.93km÷272m)

＝約1,500円

峰上地区～湊地区への移動 関豊ふれあいシニア館⇒原田内科小児科医院(9.5km)

初乗り(1.27km)500円+加算100円×(距離8.23km÷272m)

＝約3,500円

・前述の基準を参考に新交通の運賃を考えた場合、地区内1,500円÷2=750円、湊地区周辺3,500円÷2=1,750円となりますが、それでも費用負担が大きいと考えられます。

・なお、路線バス戸面原ダム線の運賃は、関豊ふれあいシニア館(最寄りバス停「中倉」)から関尻郵便局(最寄りバス停「環駅」)まで270円、原田内科小児科医院(最寄りバス停「天羽高校前」)までは490円となっています。

以上のことから、既存公共交通(一般乗用及び乗合旅客自動車運送事業)の運賃を勘案し、営利を目的としない妥当な範囲内として、実証運行期間の運賃は1回の乗車毎に峰上地区内300円、湊地区周辺まで500円(片道)とします。

※実証運行を踏まえ、見直すことも想定します。

5 運行車両

(1) 車両の確保

- ・リース車両を使用します。(竹岡地区の運送では、車両修繕に関しては運送主体、車検費用等はリース会社持ちとしている。)
- ・車両は軽ワゴン車または普通車とします。

(2) 車両の台数

- ・車両は1台用意するほか、登録ドライバーの持込車両3台(自家用車)を使用します。

(3) 車両基地

- ・立地や防犯上の観点から、地区住民の利用が多く、駐車場の設備があり、富津警察署関豊駐在所が隣接している関豊ふれあいシニア館又は旧天羽東中学校を車両基地とします。

6 運転手・予約受付者・運行管理の責任者

(1) 確保・育成

○運転手：地域住民にて確保・育成します

- ・交通空白地有償運送を実施するための運転手として運行ができるよう、国土交通省が認定する講座を受講します。
- ・住民ドライバーに登録できる人は75歳までとします。

○予約受付・運行管理者：地域住民にて確保・育成します

- ・予約受付者は運行管理者を兼務し、予約の受付やキャンセルの対応、運行状況の把握、車両の管理を行います。
- ・受付時間は、平日午前8:00～午後4:00までとし、前日12:00まで予約を受け付けます。
- ・運行日前日12:00から15:00の間に予約者へ送迎時間の連絡を行います。

(2) 人数

・運転手：2名*/日(4名/週) 運行管理者(予約受付)：1～2名

(※運転手の登録人数に上限はありません。)

(3) 給与

・運転手：1,000円/1h 運行管理者(予約受付) 500,000円/年(固定給)

(※千葉県 lowest賃金は令和3年10月1日から953円/1h)

※事業者委託できる場合

- ・事業者協力型自家用有償旅客運送を行う場合は、当該協力事業者の運行管理者等を運行管理の責任者、整備管理の責任者として選任します。
- ・実際の運行を事業者委託できる可能性についても検討します。

7 年間経費の試算

○収入

項目	金額	内訳
会費収入	50,000 円	1,000 円×50 人
運賃収入	500,000 円	500 円×2（往復）×5人/日×100日（週2日）
市補助額	2,125,000 円	
計	2,725,000 円	

○支出

項目	金額	内訳
（運送に要する経費）		
人件費（運転手）	800,000 円	1,000 円×8h/日×100 日
（運行管理者）	500,000 円	固定給
賃借費	600,000 円	自動車リース料金
保険料	250,000 円	自動車保険（リース車両）
	115,000 円	移動サービス専用自動車保険（持込用）
燃料費	250,000 円	ガソリン代
車両管理費	100,000 円	車両修繕等
通信費	60,000 円	携帯電話 2,500 円×12 か月×2 台
小計	2,675,000 円	
（事務費等）		
広告制作費	25,000 円	チラシ作成費用
印刷製本費	15,000 円	コピー代
会議開催費	10,000 円	茶菓代等
小計	50,000 円	
計	2,725,000 円	

※予算の規模感をお示しするための試算。詳細な運行内容によって変動を見込む。

8 運営方法

ONPO法人「峰上交通」による運行

9 利用方法

○利用方法イメージ図



①電話予約…受付時間は平日 8:00～16:00（事業者協力型の場合は事業者の営業時間による）、利用日前日 12:00 まで。利用者は、氏名、予約日時、乗降場所、行先を予約受付者に伝える。（初回利用の際に登録受付をする）

②予約受付…内容を確認し、利用日前日に予約確認電話することを伝える。

③運行計画編成…運行日前日に運行計画を作成、送迎時間を確定する。

④事前連絡…前日 12:00 以降に確定した送迎時間を利用者へ連絡する。

⑤送迎…それぞれの自宅(目的地)へ向かい、利用者に乗せる。

⑥到着…それぞれの目的地（自宅）へ到着

⑦待機…次の送迎時間まで待機

（関豊ふれあいシニア館、旧天羽東中学校、富津市民会館）

10 運行計画案のまとめ

1.道路運送法上の扱い	自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）
2.運行サービス	
(1) 利用対象者	峰上地区在住者及びその親族で会員登録をした方
(2) 運行エリア	富津市天羽地区（峰上地区～湊地区周辺）
(3) 予約日	受付時間は平日午前8時00分～午後4時00分 事前予約制とし、前日12時00分まで受け付ける ※受付後、予約者へ送迎時間の連絡（前日12時00分以降）
(4) 運行日	週2日 火曜日、金曜日
(5) 運行時間帯・便数	
①運行形態	デマンド型
②運行時間帯	午前8時00分から午後4時00分
③運行ダイヤ	予約に応じて編成
3.乗降方式	自宅から目的地へのドア・トゥ・ドア
4.運賃	1回の乗車毎に地区内300円、地区外500円
5.運行車両	
(1) 車両の確保	リース車両を使用
(2) 車両の台数	1台（その他運転手の自家用車3台）
(3) 車両基地	関豊ふれあいシニア館又は旧天羽東中学校
6.運転手・予約受付者・運行管理者	
(1) 確保・育成	地域住民にて確保、育成（大臣認定講習受講）
(2) 人数	運転手：2名/日（4名/週） 運行管理者（予約受付）：1名程度
(3) 給与	運転手：1,000円/1h 運行管理者（予約受付を兼務）：500,000円/年（固定給）
7.年間経費	2,500,000～4,000,000円程度を想定
8.運営方法	NPO法人「峰上交通」による運行